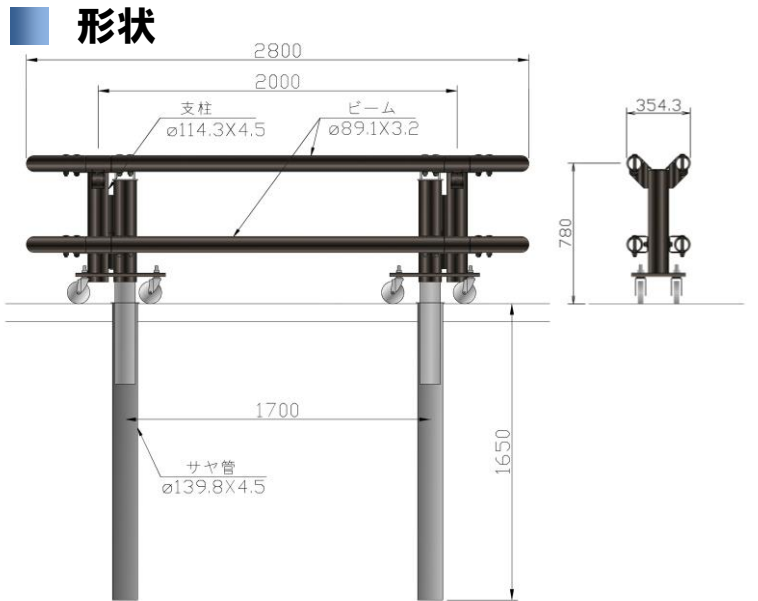
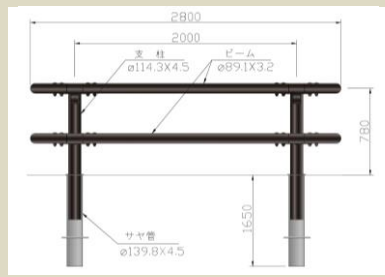


緊急開口部用TMS型ガードパイプ

日本初！自動車専用道路の事故対応などの緊急時、人力で短時間に移動が可能な防護柵



従来形状



従来形状のサヤ管式防護柵は、重機を用いて着脱するため、計画的に開口部を設ける場合有効。



反面、開口部を設けるのに時間を要するため、迅速な対応が難しい。

特長

● キャスターを採用

キャスター（車輪）を使用することにより、人力で移動させることが可能です。

● サヤ管式により防護柵を定着

防護柵側の差込管をサヤ管に落込み定着させる方式です。開放する場合は、人力で差込管を引上げるだけで、防護柵を移動させることが可能です。

安全性確認

（一財）土木研究センター指導のもと、各種試験を実施。従来形状と比較し、同等以上の強度性能を有していることを確認しております。

採用事例



差込管を引上げるだけで、キャスターにより移動が可能な形状になっています。



宮古盛岡横断道路



宮古盛岡横断道路



東北横断自動車道 釜石秋田線